

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年12月10日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0872100284		
法人名	有限会社 カサブランカ		
事業所名	有限会社 カサブランカ	ユニット名	
所在地	〒311-1204 茨城県ひたちなか市平磯遠原町17-14		
自己評価作成日	平成24年4月23日	評価結果 市町村受理日	平成24年11月21日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0872100284-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0872100284-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022</a>
-----------------	---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成24年6月28日	評価確定日	平成24年10月31日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

家庭的、家族的な雰囲気作りを目指しています。
------------------------

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所名のカサブランカは「白い家」を意味しており、高齢者が地域とつながりながら今までと同じ様な生活を継続できるよう「施設」ではなく「家」を目指すとの思いから命名している。</p> <p>管理者と職員は「明るく、家庭的な雰囲気のもとに、地域社会や家族とのむすびつきを大切に、その人らしい安心した生活が出来るよう、支援させていただきます」との理念に基づき、笑顔を絶やさずに支援をするよう努めている。</p> <p>利用者と職員は自治会の奉仕活動に参加し、近隣住民と一緒に公園の草取りをしているほか、事業所の催事に近隣住民を招待するなど日頃より近隣住民と交流し、信頼関係を築いている。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を管理者と全職員は、共有している。又意識づけしていくために、会議などのなかで話し合ったりして、実践につなげている。	管理者と職員で話し合い「明るく、家庭的な雰囲気のもとに、地域社会や家族とのむすびつきを大切に、その人らしい安心した生活が出来るよう、支援させていただきます」との理念を作成するとともに、理念を居間に掲示したり、職員会議で共有しながら実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の散歩や買い物の際に、挨拶や会話をかわしながら、日常的に交流している。又、地域の祭りや自治会の奉仕活動に参加させていただいたり、中学生の体験学習を受け入れたり、ホームの行事などに、ご近所の人々を招待したりして、交流している。	利用者は散歩時に近隣住民と挨拶を交わしているほか、近隣住民や職員の子どもが来訪し、日常的に交流している。 地域の祭りでは山車が事業所の前で止まったり、子ども会による踊りが披露されている。 利用者は職員と一緒に自治会の奉仕活動に参加し、公園の草取りなどを行っている。 近隣住民に声をかけて事業所のバーベキューに参加を得るなど、利用者が地域の一員として地域の人々とつながりながら暮らし続けられるよう支援している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の祭りや、自治会の奉仕活動に参加させていただいている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者やサービスの実際、取り組み状況等の報告や話し合いを行っている。又、運営推進会議の話し合いで、奉仕作業などの参加の実現や、外へ出かけるときの、良い場所などを教えていただいたりと、サービス向上に活かしている。	運営推進会議は年間開催計画を立て、家族等の代表や地域包括支援センター職員、自治会長、民生委員で2ヶ月に1回開催している。 会議では利用者の生活の様子や運営状況、行事の報告をしているほか、委員から自治会行事の情報を得たり、花見や利用者が楽しめる観光スポットの情報を得て外出支援に活かしている。 災害時の避難方法を話し合ったり、自治会の防災訓練の情報を得て事業所の参加を検討するなど、出た意見等をサービスの質の向上に活かしているが、話し合った内容を記録に残すまでには至っていない。	運営推進会議で出た意見や話し合った内容を記録に残すことを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	分からないことや、利用者の様子など、市担当課を訪問したり、電話で連絡を取り合ったりしている。事業所の運営に関する疑問やサービスの取り組みなどを相談するなど、協力関係を築くようにと取り組んでいる。	管理者は日頃から市担当者と協力関係を築くよう努めており、市の高齢福祉課や社会福祉課を頻りに訪問して情報交換をしたり、運営に関する不明点や利用者の支援に関することを相談し、市担当者から助言を得ている。 市担当者に避難用のらせん式滑り台の設置場所や補助金の相談をしたり、スプリンクラー設置に対する補助金の情報を得るなど協力を得ている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設勉強会等、代表者及び、全ての職員が具体的な行為を正しく理解していると思います。又、身体拘束をしないケアに全員が取り組んでいる。	身体拘束をしないケアのマニュアルを作成するとともに、勉強会を開催して全職員が身体拘束の内容とその弊害を正しく理解している。 玄関は日中施錠せず夜間のみ防犯のため施錠しているが、利用者の外出が分かるように玄関にセンサーを設置している。 現在身体拘束を行っている利用者はいないが、やむを得ず身体拘束を行う場合には家族等に説明し、書面で同意を得るとともに経過観察記録を作成し、拘束解除に向けて職員で定期的に検討することとしている。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設勉強会等を開催し、高齢者虐待防止法等について学んでいる。又、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護や成年後見制度についての研修などに出席。又、以前に社協の地域福祉権利擁護事業を使っていたご利用者がいたため、職員も周知していると思います。今後も必要な方達に活用できるよう、勉強していきたいと思っています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご利用者の方や、ご家族が理解・納得を得られるよう、時間をかけて説明を行っている。又、ご利用者・後家族等に不安等のある場合お試し入居など、十分に納得していただいた末に契約を結んだりしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居契約時、ご利用者・ご家族には、苦情相談（意見・要望）について、文章により明確に説明を行っている。又、日々の生活の中で意見・要望などないか、職員がさりげないコミュニケーションの中で聞き出したりと配慮してケアを行っている。	玄関に意見箱を設置するとともに、重要事項説明書に事業所と第三者機関の苦情相談受付窓口を明記している。 利用者からは日常の問いかけや会話の中から、家族等からは来訪時や電話連絡時に意見や要望を聴くよう努めている。 家族等が意見や要望を出し易いよう、面会日時や面会者を記録する訪問記録ノートに意見欄を設け、居室毎に用意したり家族アンケートを実施するとともに、出た意見等を運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に行っているカンファレンス時に職員の意見・提案を聞く機会を設け、職員の働きやすい職場の環境づくりなど、反映させている。	月1回開催する職員会議は18時から開催し、休みの職員も子どもを連れて参加するなど、管理者は全職員が参加できるように工夫し、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設けている。 管理者は日頃から職員とコミュニケーションを図り、職員が気軽に意見や提案が出せるような関係づくりに努めており、職員から提案があった「AED講習会」を実施するなど、職員の意見等を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	シフト作成など、カレンダーに職員が、自由に休みを書き入れ、職員が向上心をもって、働きやすいよう、整備に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	自由に研修や試験に参加できるよう、シフト調整など、協力的に行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	茨城県地域密着型介護サービス協議会・茨城県老人福祉施設協議会・ひたちなか市社協等に入会しており、勉強会等、交流する場があり、色々な情報や分らない事、困っている事、その他、勉強させていただいている。又、それをサービスの質の向上につなげられる為、非常に助かっている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人に寄り添いながら、安心して生活ができるよう、日々、努力をしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様に寄り添いながら、関係作りに、日々、努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス利用段階時、ご本人・ご家族が何を必要としているのか？今後どのようにしていきたいのか？良く話し合いをし、グループホームとして、可能な限りのサービス提供の対応に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ホーム全体が家庭的・家族的な雰囲気であり「一つ屋根の下、皆、家族！」の心意気で関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	その時々においては、ご家族に相談しながら、参加していただいたり、ご本人を共に支えていく体制で取り組んでいる。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の思いを大切にし、友達や馴染みの場所など、ご本人の訴えがある時などは、連絡を先にとるなどして、連れて行ってあげたり、又、遊びに来てもらったりとしている。	家族等や親戚、友人のほか、馴染みの床屋が来訪している。 代表者や管理者、職員は利用者の希望にそって友人宅や思い出の海、公園、墓参りなどに同行しているほか、馴染みの場所で花見ができるよう支援をしている。 職員は利用者に代わって家族等や友人に電話をして利用者の思いを伝えており、馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	「一つ屋根の下、皆、家族！」の心意気を時折、ご利用者様に話しており、時には、助けたり、助けられたり、と言う関係で生活を送っている。又、その支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族も高齢化していることもあり、様々な形で、ご家族にたいしても支援を行っています。近隣のご利用者の方が多いため、温かなつながりを大切にしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の思いを大切にし、けして無理強いせず、本人のペースに合わせての支援の体制作りに取り組んでいる。	職員は利用者に問いかけて意思を確認したり、利用者の話を聞き思いや意向の把握に努め、利用者の意思を尊重した対応に努めている。 利用者がやりたくないことは無理強いせず、利用者のペースに合わせた支援をしている。 意思疎通が困難な利用者の場合は家族等から話を聞いたり、フェイスシートや気付き記入ノートから利用者の過去を把握しているほか、利用者の表情やしぐさなどから思いを汲み取るよう努め、利用者本位に検討している。 職員が日々のケアで把握した利用者の情報は個人記録簿に記入し、全職員で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用者一人ひとりの生活歴を把握すると共に、その時々場面において、出来ることなどを、手伝っていたり、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人ノートの記録や、スタッフによる報告など、現状を把握するように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月、ケア会議を行っている。又、本人・家族・医師・看護師の意見など、定期的に聞き介護計画を作成している。	毎月カンファレンスを行い、利用者や家族等、医師、協力医療機関の看護師の意見を反映して介護計画を作成している。 介護支援専門員は日々の記録から利用者の状態を把握するとともに、3ヶ月毎に職員会議を開催して評価を行い、介護計画を見直している。 利用者の心身の状態に変化が生じた場合は随時現状に即した介護計画に見直し、利用者や家族等の確認を得ている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人ファイルを用意しており、個人のケース記録を、それぞれ、月別に記入している。バイタル・食事水分摂取量・口腔ケア・整容・内服薬点眼・排泄・気付きなど、その日の行動等、様々な角度から、ご利用者の方をとらえて記入している。介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個別ケアの取り組みとしても、本人の要望等に応じられるよう、職員の配置などにも気を配り、柔軟な支援が出来るよう、日々、頑張っ取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の中での奉仕活動や祭り、近隣の方々とのコミュニケーションなど、安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう、日々、支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診に関しては、本人、家族の希望を大切にしている。又、受診後の報告等など、電話連絡や、必要に応じては、家族の付き添いなどの受診を行っている。かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	利用者や家族等が希望するかかりつけ医への受診を支援し、内科や眼科、歯科などにも職員が付き添い適切な医療が受けられるように支援するとともに、受診結果を家族等に報告している。 受診に家族等が立会うよう医師から要請があった場合は、職員も同行している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師などと、日々の情報や気付きなどを、相談している。又、適切なアドバイスや看護を受けている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、病院関係者との情報交換や相談は常にしている。又、入院時より、毎日、顔を出すようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人・家族等との話し合いを行っている。又、本人・家族等の要望を大切に、かかりつけ医と相談しながらケア会議を開催し、職員との方針の共有をしている。その人それぞれに合った取り組みを行っている。	看取り介護マニュアルを作成している。契約時に終末期に向けた事業所の対応指針を利用者や家族等に説明するとともに、重度化した場合や終末期のあり方について利用者や家族等、医療関係者、代表者、管理者、職員で話し合っている。利用者が終末期に入った段階で利用者や家族等と話し合い、書面で看取りの同意を得ている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	実践力を身に付けられるよう、カンファレンス時、必要に応じて、勉強会などを開催している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	様々なケースのご利用者の方々の避難方法について、訓練を通じて、全員が身につけられるよう、日々、頑張っています。又、昨年の大震災の災害時は、近隣の方々の協力により、避難することができました。	防災設備委託業者が計画した災害訓練計画に基づき、消防署立会いと事業所独自の訓練を年1回ずつ実施するとともに、通報訓練や消火訓練、避難訓練を実施しているが、夜間を想定した避難訓練を実施するまでには至っていない。訓練で明らかになった反省点や課題を記録し、話し合って次回の訓練に活かしている。訓練に近隣住民の参加は得られていないものの、運営推進会議で近隣住民に災害訓練への参加や災害時の協力を依頼しており、東日本大震災時には近隣住民が駆け付け利用者を負ぶって避難先に連れて行ってくれるなど、協力を得ている。災害時に備えて米や缶詰、冷凍食品、菓子、飲料水などを1週間分備蓄しているほか、おむつなどの衛生用品は在庫を多めにしている。	夜間を想定した避難訓練や様々な災害を想定した訓練を実施することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーの確保、言葉かけや対応など、カンファレンス時、話し合ったり、検討したりして、対応をしている。	管理者や職員は利用者を尊敬し、利用者に対する呼び方や言葉遣いなどに配慮して一人ひとりの尊厳を大切にされた対応をしている。 「写真の掲示」など、利用者の個人情報使用目的を契約時に利用者や家族等に説明し、同意を得ている。 個人情報に関する書類は事務室の書棚で保管して情報漏洩に留意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が自己決定が出来るよう、全職員ケアを行っている。又、働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	必要な場面において、職員を手厚く配置したり、一人ひとりのペースを大切にし、支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その都度、ご利用者の方と職員が一緒になって、洋服を選んだり、さりげなく支援に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	現在は、職員と一緒に準備や食事をするのは困難ではありますが、食事後、食器を下げてくださいなど、その日の体調や能力に合わせて、片付けをしていただいている。	食事が楽しみなものとなるよう、献立に利用者の希望を取り入れたり、職員がカロリー計算して旬の食材を活用した食事を提供している。 利用者は居室で食べたり、居間兼食堂で利用者同士話をしながら食べるなど、職員が見守りながら利用者の希望にそった食事となるよう支援している。 職員は外出の行事に合わせて利用者の希望する外食を取り入れ、食事が楽しみなものになるよう支援している。 利用者は能力に合わせて下膳やテーブル拭きなどを行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人ファイルに毎日の栄養摂取量、水分量のチェック項目があり、全職員が周知出来る様になっている。又、一人ひとりの状態や、習慣に応じた支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは行っている。又、本人の力に応じた口腔ケアを行っている。個人ファイルに毎日の口腔ケアチェック項目がある。又、在宅歯科が入っているので、口腔衛生や治療など、専門的な口腔ケアをしている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中、夜間の排泄状態について、排泄パターンを、職員全員が理解・把握しており、自立にむけた支援を行っている。	職員は排泄チェック表を活用して利用者の排泄パターンを把握するとともに、利用者の様子から声をかけたり時間を見計らってトイレ誘導を行なっている。 歩いてトイレまで行けるようリハビリ体操やマッサージを行うなど、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援をしている。 職員の適切な支援により入居時に紙パンツを使用していた利用者が布パンツ使用に改善している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因や影響を、全職員が理解している。おやつなど、なるべく手作りで、素朴ではあるが、ふかし芋など繊維物が豊富にふくまれているような食べ物を工夫している。又、毎日の散歩など、運動なども個々に応じて、取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日、入浴は行っている。入浴者の基本の順番はありますが、入りたい方は体調にあわせて、その都度入浴していただいています。入浴の長さは、個人の希望にあわせています。入浴時間については、ご利用者の方達の疾病などもからみ、現在は日中で行っています。	職員は入浴が楽しめるよう入浴剤を使用したり、利用者の希望にそって毎日でも入浴ができるよう支援しているほか、一人ひとりの体調に合わせ清拭などの対応をしている。 入浴を拒む利用者には時間をずらして声をかけたり、声かけする職員を替えて利用者の興味のある話で入浴に誘うなど、無理のないよう促している。 柚子湯や菖蒲湯で季節を感じながら入浴ができるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりのペースにあわせて、全職員がケアを行っており、夜間に関しても、目が覚めてしまうご利用者の方に対し、夜勤者が一緒に時間を過ごすなど、安心出来るよう支援している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬については、再三の注意をしているつもりです。カンファレンス時に、ご利用者の方の疾病、それによる薬、どういう病気で、どういう薬が出ていて、どういう副作用があってという事について、話し合いを行っている。又、個人ファイルにその都度、新しくなった処方箋をつけている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者の方のペースにあわせて、ご自分の部屋や、共有スペースのお掃除をしていただいたり、気分転換等の支援としては、外食や買い物、ドライブ等に出かけたりと支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段は 行けないような場所でも、本人の 希望を把握し、家族や地域の人々 と協力しながら出かけられるよう に支援している	ご利用者の方の希望がある時は、出 来うる限り、希望にそって、用事や 買い物など、戸外に出かけている。	職員は利用者一人ひとりの希望にそって 散歩や買い物と一緒に出かけている。 天気の良い日は利用者が希望する海や公 園に出かけたり、ドライブができるよう支 援している。 管理者が市役所などに行く時には利用者 を連れて行き、外出の機会が多くなるよう 工夫をしている。 初詣や花見などの外出支援もしており、 日々の外出や遠方への外出には車いすの利 用者も一緒に出かけられるよう支援してい る。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人ひ とりの希望や力に応じて、お金を 所持したり使えるように支援して いる	金銭管理は、施設側で行っていますが、 その時々（買い物、孫などにあ げる小遣いや、お祝い等・・・）に よって、使えるように支援してい る。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電 話をしたり、手紙のやり取りがで きるように支援をしている	ご家族に電話をかけたり、かかって きたりと支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居 間、台所、食堂、浴室、トイレ 等）が、利用者にとって不快や混 乱をまねくような刺激（音、光、 色、広さ、温度など）がないよう に配慮し、生活感や季節感を採り 入れて、居心地よく過ごせるよう な工夫をしている	食事やお茶の場所が、ご利用者の方 達の集まる中心の共用空間となっ ており、自由に過ごす場所となっ ている。季節ごとの花を飾ったりと工夫 をしている。	アパートを改修した事業所だが門扉から 玄関まで季節の花を植え、利用者が一般家 庭と同じ雰囲気の中で生活ができるよう取 り組んでいる。 共用空間は温度や光の調節をして居心地 よく過ごせるよう配慮している。 玄関や居間兼食堂には観葉植物を飾った り椅子を置き、利用者が寛いで過ごせるよ うに工夫している。 車いすの利用者でも1階と2階の移動が し易いようにスロープを設置している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間として、食事やお茶を飲む場所が、ご利用者の方達の中心集まる場所ではあるが、その他にイスなどを置き、独りになれたり、気のあったご利用者同士お話しが出来るよう、工夫に努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が居心地良く過ごせるように、使い慣れた物や、馴染みのある物など、本人や家族と相談しながら、工夫をしている。	利用者は居室に使い慣れた寝具や家具を持ち込んでいるほか、飾り物や家族の写真を飾ったり、時計やカレンダーを置き、居心地よく過ごせるよう工夫しており、生活感のある居室となっている。 居室に仏壇を置き、花やご飯をお供えする利用者もいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	本人と家族より、承諾書をとっており、部屋の入り口に、名前を分かるように出している。又、混乱や失敗を防ぎ、安全で自立した生活が送れるよう、工夫している。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 有限会社カサブランカ

作成日 平成24年11月21日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議で出た意見や話し合った内容を記録に残す。	運営推進会議録の作成。	今後の会議においては職員を1名記録員（書記）として増員する。	2ヶ月
2	35	夜間を想定した避難訓練や、さまざまな災害を想定した訓練を実施する。	さまざまな災害を想定した訓練を実施していくこと。	訓練計画書を作成し計画通りに実行していく。	6ヶ月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。